

## 支部 *Newsletter*

### 【北海道支部】

#### ◎第60回大会予告

日本英文学会北海道支部第60回大会が、2015年11月1日(日)に北海道大学人文社会科学総合教育研究棟(札幌市北区北10条西7丁目)において開催されます。会員の皆様におかれましては、奮ってご参加ください。また、懇親会出席への申込みもお待ちしております。詳細は本冊子所収のプログラムをご覧ください。

#### ◎電子メールアドレス登録について

北海道支部事務局では、会員の方々に電子メールアドレス登録のご協力をお願いしております。支部からの連絡は、原則として電子メールを通して行っております。まだ登録されていない会員、あるいはアドレスに変更が生じた会員におかれましては、速やかに事務局(hokkaido@elsj.org)にご連絡のほどよろしくお申し上げます。

#### ◎支部事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。  
〒066-8655 千歳市美々758番地65  
千歳科学技術大学理工学部 金井彩香研究室内  
日本英文学会北海道支部事務局  
[TEL/FAX] 0123-27-6026  
[メールアドレス] hokkaido@elsj.org  
[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

以上(文責 金井彩香)

### 【東北支部】

#### ◎第70回支部大会開催予告

第70回東北支部大会が、2015年11月7日(土)・8日(日)の両日に、宮城学院女子大学で開催されます。詳細については、この統合プログラムをご覧ください。なお、懇親会については、10月上旬を目処に東北支部会員の皆さまにご案内を別送する予定です。

#### ◎『東北英文学研究』第6号について

今年は3本の投稿がありました。7月11日の編

集委員会にて投稿論文の審査を終え、審査結果が編集委員会の審査所見とともに投稿者に送られました。修正の上掲載可となった投稿論文の修正を8月31日まで受けつけ、その再審査が9月上旬に行われ、最終的に第6号に掲載される論文が決定されます。

#### ◎『東北英文学研究』第7号原稿募集

『東北英文学研究』第7号の原稿を募集しています。締切は2016年4月30日です。支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)にある投稿規程をご覧ください。事務局(tohoku@elsj.org)宛に奮ってご応募ください。支部ホームページより、論文のテンプレートとカバーレターをダウンロードしてお使い下さい。

### 【関東支部】

#### ◎第87回(2015年度)日本英文学会全国大会の開催(支部共催)について

第87回全国大会が2015年5月23日(土)、24日(日)、立正大学にて開催されました。初日には研究発表13本、シンポジウム6部門、翌日は研究発表17本、シンポジウム6部門、ワークショップ、特別シンポジウムがあり、いずれも盛況のうちに無事終了することができました。開催校委員ならびに大会準備委員の先生方には大変お世話になりました。

#### ◎理事会報告

2015年3月14日(日)に、成城大学において2014年度第4回理事会が開催され、以下の事項が報告、審議されました。

##### 【議事録承認】

##### 【報告事項】

- (1) 支部長報告
- (2) 委員会報告(編集委員会、大会準備委員会)

##### 【審議事項】

- (1) 2014年度予算案
- (2) 支部事業について(論集刊行、講師派遣、その他)

なお、次回の理事会より2015-16年度の新規理事会メンバーに交代いたします。今年度からの理

事会メンバーは以下の通りです。

(支部長) 原田範行、(理事委員) 阿部公彦、新井潤美、アルヴィ宮本なほ子、井上逸兵、大串尚代、奥聡一郎、唐澤一友、近藤康裕、後藤和彦、斎藤兆史、武田将明、田尻芳樹、巽孝之、丹治愛、(監事) 河野真太郎、深澤俊

#### ◎『関東支部第11回大会(2015年度秋季大会)予告』

日本英文学会関東支部第11回大会(2015年度秋季大会)は、2015年10月31日(土)、慶應義塾大学日吉キャンパスにて開催されます。詳細については、支部統合号のプログラムをご覧ください。

#### ◎『関東英文学研究』第8号について

『関東英文学研究』第8号の応募が2015年5月15日に締切られました。投稿数は11本ありました。審査委員会を7月5日(日)に開催し、審査報告を最終的に取り纏め、同月中旬より審査結果を投稿者の皆様にお送りしました。

#### ◎編集委員会報告

2015年5月10日(日)、成城大学にて第1回編集委員会を開催いたしました。議題は以下の通りです。

- (1) 委員長、副委員長挨拶、委員紹介
- (2) 新事務局からの挨拶と諸連絡
- (3) 2015年度の編集スケジュールの確認
- (4) 新人奨励賞(村山賞)、優秀論文賞の選考方法について
- (5) 任期の確認と候補について
- (6) 論文の掲載順序について

今年度の委員会メンバーは以下の通り。奥聡一郎(委員長)、向井秀忠、中和彩子、秦邦生、清水徹郎、小田島恒志、鈴木理恵子、高木真佐子、伊達直之、谷岡健彦、長島佐恵子、中野学而、越智博美、若林麻希子、上原正博、永野良博、佐久間みかよ、宅間雅哉、深谷素子

2015年7月5日(日)、成城大学にて第2回編集委員会を開催いたしました。議題は以下の通りです。

- (1) 投稿論文の査読結果報告および可否決定
- (2) 執筆者へのコメント担当者について
- (3) 査読論文査読担当者について
- (4) 剽窃・二重投稿及び投稿規程について
- (5) 査読論文について

#### ◎大会準備委員会報告

2015年4月18日(土)、慶應義塾大学日吉キャンパスにて第1回大会準備委員会を開催しました。議題は以下の通りです。

##### 【報告事項】

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 理事会報告
- (3) 今年度の予算について

##### 【審議事項】

- (1) 2015年度副委員長(来年度委員長)の選出
- (2) 委員の任期と企画の担当について
- (3) 今年度秋季大会について

今年度の委員会メンバーは以下の通り。

近藤 康裕(委員長)、佐藤達郎、小川公代、佐久間みかよ、小林愛明、辻秀雄、平賀優子、大山健一、田中裕介、松田智穂子、フェアバンクス香織

以上

(文責 佐藤光重)

#### 【中部支部】

##### ◎役員人事と事務局移転

2015年4月1日から役員が交代し、事務局は静岡大学と名古屋工業大学が共同で担当することになりました。住所については、当面静岡大学に置きますが、経験を重ねながら、効率的な運営に資すると思われる場合は、名古屋工業大学に分散もしくは変更する可能性も視野に入れていきます。

支部長	内田 恵(静岡大学)
副支部長	吉田江依子(名古屋工業大学)
事務局長	丸山 修(静岡大学)
事務局長補佐	横越 梓(名古屋工業大学)
書記	小町 将之(静岡大学)

新事務局の住所は下記のとおりです。

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
 静岡大学教育学部英語科共同研究室内  
 TEL: 054-238-4285(事務局長直通)  
 FAX: 054-238-4291  
 E-mail: chubu@elsj.org  
 HP: <http://www.elsj.org/chubu/>

任期は2018年3月までです。

### ◎支部長挨拶

日本英文学会中部支部事務局が2015年度より三年間、愛知県以外に置かれることになりました。と言いましても、静岡大学と名古屋工業大学が共同で担当いたしますので、幸いなことに名古屋地区にも足場があることになります。3月に行われました事務局引き継ぎ業務についてもこの利点がいかに発揮されました。

私的なこととなりますが、大学院を修了して静岡地区に就職して以来、本支部にいろいろな形で携わらせていただいております。若いころは、「自分の勉強・研究の成果をささやかに人に聞いて意見をもらいたい。」というノルマ達成のための手段として発表をしておりました。当時はさほど面識がなかったにもかかわらず、中野弘三先生(名古屋大学名誉教授・本学会元支部長)はじめ著名な先生がたから暖かいコメントや励ましをいただいたものでした。また、中堅教員になったところに、大学の同窓ということもあり清水一嘉先生(愛知大学名誉教授)に声をかけていただき、愛知大学に置かれた事務局を手伝うことになりました。東京の本部との連絡調整が主たる業務でしたが、自分の専門以外の先輩や友人と出会う幸運がありました。

現在は中部支部選出の評議員を兼務する形で事務局をお預かりすることになりましたが、皆様もご存じのとおり、過去数年は解決しなければならない課題も山積しておりました。議論が生まれ、ときには対決ムードになることも多々ありました。しかし思えばその都度かわった役員の方々、方向はまちまちであっても熟慮した上のご対処が多かったものと信じます。そして私もその期間に役員を引き受けた会員として責任を感じております。

今後も先輩諸氏や会員の皆様のご意見を反映しながら、いくつかの問題解決に邁進する覚悟であります。それと並行して2017年5月には日本英文学会全国大会が静岡大学で開催されると予測されます。また三年間という長期間担当事務局として三回の中部支部大会のお世話や学会誌編集のお手伝いもすることになります。会員増加のために弾力的運営をこころがけながら、中部地方の研究者の皆様は今まで以上に親しみを持っていただく学会にしていきたいと思っております。何卒お力添えをお願いいたします。(内田恵)

### ◎『中部英文学』第35号投稿論文査読結果

6件(文学5件、言語学1件)の投稿がありました。7月12日(日)に開催された編集委員会において慎重に協議した結果、再審査2件、不採用4件と決定されました。審査所見を踏まえて修正のうえ再提出された論文の審査が9月初旬から中旬に行われ、掲載論文を決定します。

### ◎第67回支部大会

10月17日(土)に名古屋工業大学で第67回支部大会を開催します。詳細はプログラムをご覧ください。大勢の皆さまのご来場をお待ちしております。

### ◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は、速やかに本部事務局と支部事務局にご連絡ください。

### ◎メールアドレス登録のお願い

ご連絡をスムーズかつスピーディーに行うために、皆様にはメールアドレスの登録をお願いいたします。未登録の方は、件名をメールアドレスとして、ご氏名、所属先、職位を事務局までメールでお知らせください。送っていただいた情報は、中部支部の連絡業務以外には使用しません。

以上  
(文責 丸山 修)

### 【関西支部】

#### ◎機関誌『関西英文学研究』第9号(『英文学研究 支部統合号』第8号)について

来年1月の発行に向けて、現在編集作業中です。本年度の編集委員は、【イギリス文学部門】芦津かおり(神戸大学)、小島基洋(京都大学)、玉井史絵(同志社大学)、西川健誠(神戸市外国語大学)、野末紀之(大阪市立大学)、福本宰之(龍谷大学)、和氣節子(神戸女学院大学)、【アメリカ文学部門】鶴野ひろ子(神戸女学院大学(誉))、片測悦久(大阪大学)、塚田幸光(関西学院大学)、辻和彦(近畿大学)、前川玲子(京都大学)、【英語学部門】有村兼彬(甲南大学(誉))、岩田良治(天理大学)、沖田知子(大阪大学)、高橋勝忠(京都女子大学)の計16名(敬称略)、委員長は鶴野ひろ子、副委員長は前川玲子の各氏です。

投稿論文には全部で15編の応募があり、掲載論文と奨励賞論文について現在審査中です。特別寄稿論文執筆者は石塚裕子(神戸大学)、入子文子(関西大学)、鈴木憲夫(神戸親和女子大学)の各氏、書評「私の一冊」執筆者は桂山康司(京都大学)、若島正(京都大学)、神崎高明(関西学院大学)の各氏を予定しています。

#### ◎第10回支部大会について

4月と7月に大会準備委員会を開催し、目下準備作業中です。本年度の準備委員は、【イギリス文学部門】加藤雅之(神戸大学)、金津和美(同志社大学)、桑山智成(京都大学)、新野緑(神戸市外国語大学)、【アメリカ文学部門】柏原和子(関西外国語大学)、西山けい子(関西学院大学)、【英語学部門】見玉一宏(京都教育大学)、松本マスマ(大阪教育大学)、【開催校委員】富永英夫(武庫川女子大学)、の計9名(敬称略)、委員長は加藤雅之、副委員長は新野緑の各氏です。

プログラムについては本誌をご覧ください。

#### ◎事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

〒662-8501

兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学文学部英文学研究室

日本英文学会関西支部事務局

電話：0798-54-7247

電子メール：kansai@elsj.org

ホームページ：http://www.elsj.org/kansai/

(文責：横内一雄)

### 【中国四国支部】

#### ◎中国四国支部第68回大会準備委員会報告

第68回大会準備委員会を2015年5月30日(土)に県立広島大学で開催し、研究発表等のプログラム、大会運営に関して協議しました。支部大会に向けて目下準備作業中です。

#### ◎学会誌編集委員会委員の変更

平成26年度より学会誌編集委員会委員だった栗原武士(県立広島大学)が日本英文学会中国四国支部事務局長になったため、委員から外れまし

た。今年度の学会誌編集委員会の業務は栗原委員以外の先生方で行うことになりました。先生方のご協力に感謝いたします。

#### ◎学会誌編集委員会報告

『中国四国英文学研究』第12号(『英文学研究支部統合号』第八卷)の編集委員会を2015年7月4日(土)に安田女子大学で開催し、4編の投稿論文の第一次審査を行い、そのうちの2編を再審査としました。

#### ◎中国四国支部第68回大会および懇親会の事前登録について

開催校準備の都合上、本年度より**支部大会参加者の事前登録**をお願いすることになりました。支部大会参加の事前登録および懇親会参加・不参加のご連絡は中国四国支部のホームページ上でお願いいたたく存じます。ホームページ上での参加・不参加の入力は**9月10日より9月30日**までをお願いいたします。不参加の場合もご入力ください。

#### ◎中国四国支部第68回大会期間中における保育サービスの実施

大会期間中に希望者に対して、保育サービス(有料)を行う予定です。託児室利用希望者は中国四国支部ホームページから様式をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ**10月10日**までにメールに添付のうえ事務局(elsjcs@hiroshima-u.ac.jp)にご送付ください。

以上(文責：高橋 渡)

### 【九州支部】

#### ◎九州支部ホームページについて

日本英文学会九州支部のホームページ(<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>)には、『九州英文学研究』投稿規定、支部大会関連情報、評議会・理事会や編集委員会の議事録その他の重要な情報が掲載されています。積極的に御活用いただければ幸いです。

◎機関誌『九州英文学研究』第31号(『英文学研究支部統合号』第7巻)が刊行されました。イギリス文学4編(徳漣2編)、アメリカ文学3編(徳漣1

編)、英語学2編(徳憑1編)計9編の論文が掲載されました。奨励賞受賞論文1編と徳憑論文4編を含んでおり、英語論文2編、日本語論文7編とも、質、量ともに充実したものとなりました。

◎機関誌『九州英文学研究』第32号(『英文学研究 支部統合号』第8巻)について

1) 来年1月の発行に向けて、鶴飼信光編集委員長(イギリス文学、九州大学)、小谷耕二副編集委員長(アメリカ文学、九州大学)、山田英二副編集委員長(英語学、福岡大学)を中心に、【イギリス文学部門】太田一昭(九州大学)、小林潤二(鹿児島国際大学)、木原謙一(北九州市立大学)、宮原一成(山口大学)、村里好俊(熊本県立大学)、【アメリカ文学部門】高橋 勤(九州大学)、高野泰志(九州大学)、竹内勝徳(鹿児島大学)、早瀬博範(佐賀大学)【英語学部門】大橋 浩(九州大学)、登田龍彦(熊本大学)、西岡宣明(九州大学)、向井 毅(福岡女子大学)からなる編集委員会は、編集委員、及び、10名の外部審査委員の審査報告に基づき掲載論文と優秀賞論文・奨励賞論文について審議いたしました。投稿論文は、英文学9編、米文学6編の計15編でした。

論文採否の審査の結果は、掲載可能論文2編、再審査論文2編でした。再審査論文は一定の期間内に再提出されたものを再審査して掲載可能かどうかを決定いたします。また、掲載可能論文の1編が優秀論文賞に該当するか否かを審査中です。

なお、7月25日に開催された編集委員会では、これらに加えて次の事項についても審議し、決定いたしました。

1) 投稿論文の投稿方法と分量制限について

現在、ハードコピーの送付も求める投稿方法をWORDとPDFファイルによる電子投稿のみとし、分量の上限を『英文学研究』と同様に「論文本体の長さは、A4判用紙に横書きで40字×30行とし、15枚以内。英文の場合7000語以内。上記の長さには本文および註を含むが、樹形図、表、グラフ、数式、図版及び論文末尾に加える引用文献についてはこの制限外とする。」に変更する。

2) 学会賞の英語表記について

優秀論文賞：The *Kyushu Studies in English Literature* (KSEL) Distinguished Paper Award

奨励賞：The *Kyushu Studies in English Literature* (KSEL) Young Scholar Award

とする。

◎第68回(2015年度)支部大会について

第68回支部大会は、2015年10月24日(土)、25日(日)の両日、佐賀大学(佐賀市)で開催されます。「招待発表者4名」を加えた21名の個別発表、3部門のシンポジウム、(イギリス文学)「英文学の公共的性質——文学と国民意識との関連」(司会、園井千音)、(アメリカ文学)「パフォーマンスから読み直すアメリカ文学」(司会、岡本太助)、(英語学)「最新文法理論の射程」(司会、廣江 颯)、及び、佐々木徹氏(京都大学大学院教授)による特別講演「小説と映画について」が実施されます。

支部大会の詳細は、支部ホームページでご確認ください。

◎支部事務局

平成27-28年度の事務局は下記にて運営しております。

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1

九州大学大学院人文科学研究院

西岡宣明研究室内

TEL (092) 642-2393

E-mail: nishioka@lit.kyushu-u.ac.jp

HP: <http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp>

支部長・日本英文学会理事

西岡宣明(九州大学大学院教授)

副支部長・日本英文学会評議員

『九州英文学研究』編集委員長

鶴飼信光(九州大学大学院教授)

事務局長 高野泰志(九州大学大学院准教授)

書記 田中公介(産業医科大学講師)

書記 團迫雅彦(九州大学大学院専門研究員)

書記 黒木隆善(九州共立大学講師)

書記 大塚知昇(九州大学大学院専門研究員)

以上(文責：西岡宣明)